

## 事例 1

### タイトル: 私の気持ちをわかってほしい

#### . <事例の状況>

車いすで自由に移動しておられるが、職員を見ると「行こう、行こう」「ご飯、ご飯」と何度も同じ言葉を大きな声で繰り返される、その都度、説明をしているが徐々に「バカたれ」等の言葉に変わり、激しくなっている状況で、他の方とトラブルになることも出てきている。専門医に相談するが性格的な問題もあるとのことであった。

#### 【この事例で課題と感じている点】

忙しい時間帯に上記の行動が起こるとストレスを感じることもあり、本人の気持ちにより添えなくなる。

#### . <キーワード>

介護者と本人のストレス

#### . <事例概要>

【年齢】 80代半ば

【性別】 女性

【職歴】 結婚するまでは農家の手伝い、結婚後、専業主婦であったが夫が死亡し経理事務員として働く

【家族構成】 娘夫婦と同居していた、現在特別養護老人ホーム入所

【認知機能】 HDS-R 12点

【要介護状態区分】 要介護3

【認知症高齢者の日常生活自立度】 認知症自立度

【既往歴】 高血圧症・心不全

【現病】 アルツハイマー型認知症

【服用薬】 マグミット、ドグマチール、アレグラ、タナトリル、ハーフジゴキシン  
就寝前：プルセニド、ハルシオン

【コミュニケーション能力】 ご飯、トイレなどの簡単な単語での意思を示すことができる。こちらからの問いかけに対してもうなづかれたり、単語での返事が出来る。つじつまの合わない言動もある。

【性格・気質】 気性が激しい。短気なところがある。

【A D L】 食事は自立。排泄は失敗がありリハビリパンツ着用している、尿意によりトイレ利用する。移動は車いす自操できるが、周りにぶつかるため見守りと誘導が必要。着脱は一部介助が必要。入浴は洗身、洗髪介助必要

【障害老人自立度】 障害自立度 B1

【生きがい・趣味】 仕事についていた頃はパチンコ、ゲートボールが好きだった。

【生活歴】

農家の末っ子として生まれる。尋常小学校を卒業し結婚までの職歴は不明。夫は、産炭地の娯楽施設で働いていた。子供は4人をもうける。夫は死亡後は、姉を頼り転居、工業所で経理事務員として、定年まで勤務した。定年後は主婦業に専念。趣味はパチンコ、ゲートボール。

70才ごろより金銭管理ができない、物忘れ、会話が成立しない等の症状が出現、2年後には入院加療、他人の物を持ってくる、暴力行為があるなどで2年間入院。退院して自宅に戻ったが、徘徊、ベランダで排泄する、近所の知り合いの家へ何度もお金を借りに行く、などの行為があり自宅での生活が困難となり老人保健施設へ入所した。四年後、当特養に入所となった。その9年後興奮、不穏が著しく、大声を出したり他者とのトラブルとなるため内服コントロールが必要との判断で入院となった。3か月間入院し退院し現在に至る。

【人間関係】 娘さん以外の面会はない。昔は友人が多かった。施設では利用者同士での会話はない。

【本人の意向】 穏やかに暮らしたい

【事例の発生場所】 施設